



復刊第176号
題字 吉岡彌生

巻頭言

副会長 加藤 竺子

この夏は世界各地で異常気象が連続、日本列島も宮城県連続地震、九州各地の集中豪雨、台風10号の縦断による被害などが、思いがけない災害が続きましたが、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。天候不順で梅雨明けが遅れ、低温や日照不足は農作物への影響も大きく、お米の不作も心配されています。

はじめ、近代生活の人為的な結果が影響しているとすれば、地球市民としての一人ひとりの環境意識と行動責任を痛感します。

さて、日本女医学会は去る5月の総会で、新しい執行部の役員も決まり、新鮮な感覚で会務の円滑な執行に張り切っております。

ます来年7月開催の第26回国際女

医学会の成功にむけて、会長、副会長をはじめ、ナショナルコーディネーターを中心に組織委員会を構成し、各担当も具体的な作業が忙しくなりました。二十八年ぶりに日本で開催される大事な会議なので国際的に評価されるような会にしたいものです。

できるだけ多くの会員がこの国際会議に参加され、交流の機会を持たれることを願っています。ご協力頂きたいこともたくさんありますので、積極的にご希望ご要望を事務局にお問い合わせください。

日本女医学会は公益法人としての社会活動に努めてまいりましたが、国の行政改革方針もあり、厳しい指導のなかで出来るだけ実績をあげて行かねばなりません。いま定款改正に向けての作業も進めており、いずれ

次期総会には提出できると思います。男女共同参画社会づくりは世界の潮流であり、1999年にわが国でも男女共同参画社会基本法が施行され、国を挙げてその推進に取り組んでいますが、国際的に見て指標の上では、まだまだの状況です。基本的な人間の能力がどこまで伸びたかを示すHDI(人間開発指数)は一六二カ国中九位、政治及び経済への女性の参画程度を示すGEM(ジェンダー・エンパワーメント指数)は六四カ国中三二位と低位です。

女性医師の働く環境は未だ十分な男女の機会均等とはいえず、特に結婚、妊娠、育児のある期間には、もっと働く環境の整備と支援の必要を痛感します。いま「医師の環境調査小委員会」の方で医学部卒業後の十年〜十五年の方々のアンケート調査をしております。この調査結果を参考に、働く女性医師の環境の改善と能力を発揮できる機会均等社会の実現に、会としてもさらなる努力をして行きたいと考えています。

低迷する経済、高齢少子化、高度情報化社会が作り出す新しい社会の歪、日本社会の抱える将来不安は、「国民生活に関する世論調査」にも示されています。国民の三人に二人が抱える生活不安、特に健康問題に關しては、医師として使命感を持って関わって行きたいと思えます。

もくじ

巻頭言.....加藤 竺子 (1)

第26回国際女医学会議の準備状況.....平敷 淳子 (2)

国際女医学会議の交流パーティ.....石原 幸子 (4)

Scientific Committeeからのお知らせ.....山本 織子 (5)

比較的利用している近所の食べものやさんです.....二村美英江 (6)

『ゆうゆう糖尿病』が6月号よりリニューアル.....内潟 安子 (11)

再び青森支部より.....前田 慶子 (11)

〈支部だより〉アンケートとってみました.....鳴崎紀代子 (11)

〈私の大学〉東京女子医科大学.....渡辺 弘美 (13)

〈書籍紹介〉『絵本だいすき』.....青木 正美 (14)

*第26回国際女医学会議のご案内..... (8)

*登録申込用紙..... (9)

*「十代の性と健康」指導者養成講座のお知らせ..... (10)

*新医学用語辞典..... (12)

*第49回定時総会のご案内..... (14)

*評議員及び予備評議員名..... (15)

*理事会議事録..... (16)

*会員動静..... (16)

*編集後記..... (16)

理事会では第26回国際女医学会議の企画・立案・運営に関し、約四、五年前から準備を進めております。主旋律は21世紀の日本で開催する国際学会としてエポックメイキングになるようなものにと考えております。そのためには日本の誇るIT技術を十分に駆使し、プロ集団の力をかりた骨のある学会にしたいと思っております。まず早々と打ちあげましたホームページには海外からのアクセスが飛びつくようにあります。そのなかから私のメールアドレスをみつけ、まず外国から、つづいて国内から多い日は二〇〜三〇通のメールをいただき対応させていただきます。MWIAとの連絡はすべてEメール、会議はTeleconferenceでおこなっております。

国内の若い先生方が自主的に参加を名乗り出ただけのことにとっても励みになっております。

学会は電子媒体を用いた発表を主にしていく準備を整えております。

学会であるところから、できるだけ公的な助成金の申請も意欲的に

会場 エミネンス
司会 Naomi Hizuka, Keiko Ikeya (日本)
演者 Dr. Haruko Akatsu (在米、日本)
Dr. Mayumi Tanaka (在米、日本)
学生 (日本、韓国、オーストラリア)
看護師 (韓国、日本、オーストラリア)

二時間のシンポジウムを二つ企画しました。Iは山本織子先生企画でMWIAの主旋律でもある女医について多角的に討論していただきます。IIは齋藤加代子先生と看護協会の池谷恵子先生に企画していただきます。学生や看護師さんに参加いただく予定で、現在人選中です。

ワークショップ

I Leadership
日時 7月29日(木)14:00~16:00
会場 エミネンス
企画 Dr. Jennifer Alexander (オーストラリア)
演者 (未定)

II Gender
日時 7月31日(土)14:00~17:00
会場 花A, B, C

企画 Dr. Shelley Ross (カナダ)
リーダー MWIAが決定
一般公開

ワークショップも二つ企画しました。ワークショップIIは今期会長Sheley Rossのライフワークであり、一般公開されます。Genderとは、にはじまり、事例をもとにGenderを考慮にいたれた社会のありかたを考えていくものです。英語のみのクラス、日本語の解説が一部は入るもの、すべて日本語とクラス分けいたす予定です。この公開ワークショップは東京都にもご協力いただきます。

Plenary Session
日時 7月29日(木)9:00~10:00
会場 エミネンス
テーマ 糖尿病
座長 内海安子 (未)
演者 Dr. Yasue Omori (日本)
Dr. Marianne Ehnert (ドイツ)

日時 7月30日(金)9:00~10:00
会場 エミネンス
テーマ 遺伝子診断と治療
座長 山本織子
演者 Dr. Kei-Yee Lee (台湾)
Dr. Elisabeth Goedde (ドイツ) (未)

第1回 候補者演説、選挙
7月28日(水) 14:00~17:00
第2回
7月30日(金) 10:00~12:00
第3回
8月1日(日) 8:00~10:00

基調講演の元国連難民高等弁務官の緒方貞子氏は快くご承諾くださいました。ご演説は英語でおねがいし、日本語への同時通訳が付きまします。

開会式とopening reception には皇室関係者のご参列を宮内庁にお願いしてあります。

総会では7月28日に会長立候補者の演説と選挙もあります。

シンポジウム(詳細未定)

I Women in Medicine
日時 7月29日(木) 10:10~12:10
会場 エミネンス
司会 山本織子, 111 OK CHU(韓国)
演者 Dr. Waltraud Diekhans (ドイツ)
Dr. Yoko Araki (日本)
Dr. Arino Yaguchi (在ベルギー・日本)
Dr. Dorothy Ward (スウェーデン)

II Human Relations
日時 7月31日(土)10:10~12:10

Dr. Kayoko Saito (日本)
日時 7月31日(土)9:00~10:00
会場 エミネンス
テーマ 女性医師
座長 加藤悠子
演者 Dr. Rebecca Kuniyoshi(ベルギー)
Dr. Shelley Ross(カナダ)
Dr. Takako Tsuda(日本)
Dr. Gablyelle Casper (オーストラリア)

Plenary session ではタイムリーな問題をお話いただきます。座長・演者ともに国内外の先生がたにお願いしてあります。

Luncheon Lectures
7月29日(木)、30日(金)、31日(土)の12:10~13:10まで昼食をとりながら講演をお聞かせいただきます。

山本(織子)、内海、平敷が企画しましたので、それぞれ神経疾患、糖尿病、画像診断にかかわるものです。演者の選出はほぼ終わりました。座長は海外の先生にお願い致します。

病院見学
日時 7月30日(金) 午後
見学病院
1 成育医療センター(六〇名)

指定医薬品
プロトンポンプ阻害剤
【薬価基準収載】

パリエット® 錠10mg 錠20mg
〈ラベプラゾールナトリウム製剤〉

hpk Eisai エーザイ株式会社
〒112-8088 東京都文京区小石川4-6-10
http://www.eisai.co.jp

製品に関するお問い合わせ：お客様ホットライン室
☎0120-419-497 9~18時(土、日、祝日 9~17時)

●効能・効果・用法・用量及び禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

PT0307-14 2003年7月作成



第26回国際女医学会議の準備状況



組織委員会事務局長 平敷 淳子

ごなっております。

会期 2004年7月28日(水) ~ 8月1日(日)
会場 京王プラザホテル(東京)

基調講演
7月28日(水) 10:30~11:00

会場 エミネンス
演者 緒方貞子氏

開会式
7月28日(水) 11:20~12:00

会場 エミネンス
司会 山本文郎氏

Opening reception
7月28日(水) 12:30~13:30

会場 コンコルド

総会
会場 エミネンス

第1回 候補者演説、選挙
7月28日(水) 14:00~17:00
第2回
7月30日(金) 10:00~12:00
第3回
8月1日(日) 8:00~10:00

基調講演の元国連難民高等弁務官の緒方貞子氏は快くご承諾くださいました。ご演説は英語でおねがいし、日本語への同時通訳が付きまします。

開会式とopening reception には皇室関係者のご参列を宮内庁にお願いしてあります。

総会では7月28日に会長立候補者の演説と選挙もあります。

シンポジウム(詳細未定)

I Women in Medicine
日時 7月29日(木) 10:10~12:10
会場 エミネンス
司会 山本織子, 111 OK CHU(韓国)
演者 Dr. Waltraud Diekhans (ドイツ)
Dr. Yoko Araki (日本)
Dr. Arino Yaguchi (在ベルギー・日本)
Dr. Dorothy Ward (スウェーデン)

II Human Relations
日時 7月31日(土)10:10~12:10

Aventis

このパワーには、理由がある。

アレルギー性疾患治療剤
【効能又は効果】アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、アトピー性皮膚炎)に伴うそう痒
【用法及び用量】通常、成人には塩酸フェキソフェナジンとして1回60mgを1日2回経口投与する。なお、症状により適宜増減する。
【使用上の注意】(抜粋)
●重要な基本的注意 本剤を季節性の患者に投与する場合は、好発季節を考慮して、その直前から投与を開始し、好発季節終了時まで続けることが望ましい。
●相互作用 併用注意(併用に注意すること)：制酸剤(水酸化アルミニウム・水酸化マグネシウム含有製剤)、エリスロマイシン
●重大な副作用 1) ショック・ショックを起こすことがあるので、観察を十分に行い、呼吸困難、血圧低下、血管浮腫、胸痛、潮紅等の過敏症状があらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。
** 2) 肝機能障害、黄疸 - AST(GOT)、ALT(GPT)、γ-GTP、ALP、LDHの上昇等の肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い異常が認められた場合には、投与を中止し、適切な処置を行うこと。

allegra アレグラ 錠60mg
塩酸フェキソフェナジン製剤 ●薬価基準収載

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】
本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

製造・販売:
アベンティス ファーマ株式会社
〒107-8465 東京都港区赤坂二丁目17番51号

2003年7月作成



と参加して楽しく終わったことを思い出しました。

さらに嬉しいことには、企業からの寄付も、よい感触であったと報告されておりますし、開会式には百周年同様、皇室の御臨席もお願いしております。あの感激をもう一度と、いまからドキドキしております。基調講演には、緒方貞子氏が決まり、時代の最先端で活躍された多彩なお話が聞けると楽しみにしているとところでございます。

もとより、この会を支えてくださるのには会員諸姉であり、特に五十年の永い間、ご協力くださったサファリア会員の皆様には、常々ありがたく感謝しております。二五〇余名のサファリア会員を持つ女医学会は世界に二つとありません。私どもはこの機会に、特別席を設け、内外の方々に胸を張ってご紹介したいと考えております。百周年同様ご参加くださいますようお願い申し上げます。

また若い方々にはまたとないこの機会に、内外の先輩方が、いかに若々しく元気に生きてこられたかを肌で感じ、そのエネルギーを貰っていただきたいと思います。まだまだ来年までには、皆様にご満足いただける会にしたいと、一同張り切って準備を進めております。前回にもまして、多数の方々のご参加を心よりお待ちしております。

午前	昼食時	午後
7月28日 10:30-11時 基調講演 緒方貞子氏		
7月29日 9-10時 Plenary 糖尿病 10-12時 シンポジウム Women in medicine 一般演題	ランチョンセミナー 3題	ワークショップ リーダーシップ 一般演題
7月30日 9-10時 Plenary 遺伝子診断	ランチョンセミナー 3題	病院施設見学
7月31日 9-10時 Plenary 女性医師 10-12時 シンポジウム Human relations	ランチョンセミナー 3題	ワークショップ Gender workshop (一般公開で行われる) 一般演題

Scientific Committee からのお知らせ

この夏は変則的な気候でしたが、ご健勝にてご活躍でいらっしゃいますか。

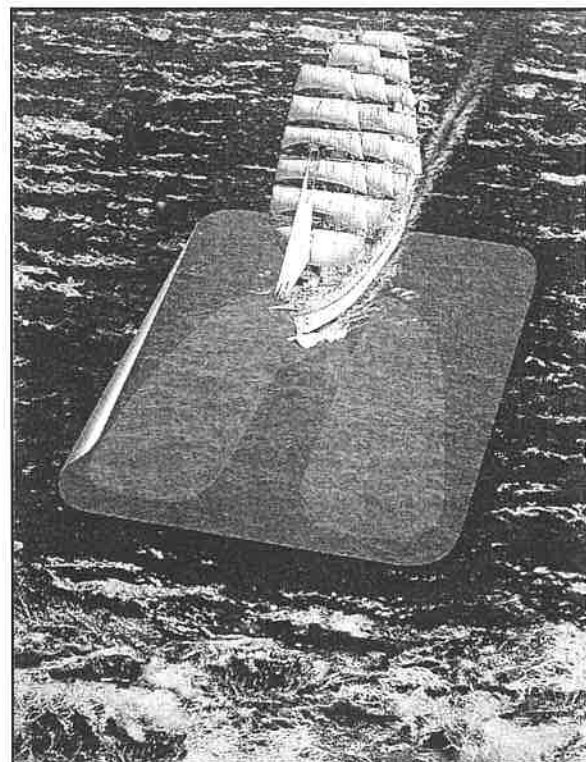
さて、2004年に開催されます

この夏は変則的な気候でしたが、ご健勝にてご活躍でいらっしゃいますか。

さて、2004年に開催されます

MWIAの第26回国際女医学会の準備が進行しており、多くの先生方に積極的に参加していただくためのプログラム作りを努力しているところ

學術プログラム委員長 山本 續子



Tape 経皮吸収型・気管支拡張剤

ホクナリンテープ 0.5mg / 1mg / 2mg

Hokunalin (ツロブテロール貼付剤)

薬価基準収載 指定医薬品・要指示医薬品

●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等につきましては、製品添付文書をご参照下さい。

製造発売元 **アボット ジャパン株式会社**

資料請求先:くすり相談室
〒540-0001 大阪市中央区城見2-2-53
TEL (06) 6942-2065

2003年2月作成

2 東京女子医大総合外来センター (四〇名)

3 聖ロカ病院(二〇名)

4 ホスピタ三軒茶屋(老人保健施設) (二〇名)

ガイドとなる会員の先生がたを募っております。すでにご応募くださった先生がたもおります。都内医学部のESSの学生にも声をかける予定です。

(水)7月31日(土)

機器展示とバザー

日時 7月28日(水)7月31日(土)

会場 花D2

内容 日本の誇る小型心電計、眼鏡や小型医療用具の機器展示と宝石や洋服など専門店のバザー。

お茶席とお花のデモ

日時 7月29日(木)7月31日(土)

会場 花D1

内容 東京都支部連合の先生がたと東京女子医大茶道部・華道部にお願いいたしました。

パーティ

Ice cracking party

日時 7月27日(火) 18:00~20:00

会場 未定

会費 無料

遠来の客には旅の疲れをねぎらい、

旧交を締め、明日からの会議の成功を祈る、いわば景気付けのパーティ。時間の許すときにお立ち寄りいただき、ご参加ください。

Opening Reception

日時 7月28日(水) 12:15~13:15

会場 コンコルド

会費 無料

基調講演の緒方貞子氏にもご参加いただきます。

Party at Japanese Garden

日時 7月29日(木) 18:00~20:30

会場 椿山荘

会費 五〇〇円/名

Gala Banquet

日時 7月31日(土) 18:00~21:00

会場 コンコルド

会費 一〇〇〇円/名

さよならパーティです。ホリ・ヒロシ氏による人形舞と滝本氏によるシンセサイザーが予定されております。滝本氏は京都での西太平洋地域会議の折に大好評を博した方です。石原副会長を中心にさらにメニューは検討中です。

橋本会長から、下記の先生方に program subcommittee memberとしての委嘱状がだされ、ご承諾いただきました。先生がたには抄録の和訳や座長をお願いいたします。

- 1 荒木 葉子(慶応大)
- 2 安部由美子(群大)
- 3 水田 祥代(九大)
- 4 上田由紀子(東大)
- 5 大西 礼子(女子医大)

1976年、日本において初めて国際女医学会が開かれました。当時の参加数は一二九名、国内六八五名、国外四四四名の大盛會に終わりました。思い起こしますと、当時は会員数五〇〇余名を擁する日本女医学会の最盛期であり、常に会を支えてくださったサファリア会員(会員歴50年以上)の、若々しく活動する時代であったとして、なつかしく思い出しております。

このたび二十八歳の歳月を経て、再び私も日本女医学会が第26回国際女医学会を引き受けることになりました。同じ京王プラザホテルで開

6 牧野真理子(聖マリアンナ医大)

7 岩平 佳子(東邦大)

8 日下(吉田)康子(東北大)

9 白鳥 敬子(女子医大)

10 齋藤 和歌(群大)

11 高村 悦子(女子医大)

12 藤川真理子(女子医大)

13 津田 喬子(名古屋大)

14 池谷喜代子(女子医大)

組織委員会副委員長 石原 幸子

きます。2004年7月28日より五日間、その準備に追われております。戦後五十年、私どもの生活は豊かになり、支えるものは多く、支えてくれるものが少なくなり、難しい時代になりました。いま女医学会は、毎年会員増加目標を掲げ、声を大にして進めてまいりましたが、なかなか思うようにならない現実につき当たっております。しかしながら、昨年の百周年を機に、各方面からのアプローチやご参加もあり、少しながら上昇気運に乗ったと感じております。このときに、国際女医学会が開かれますことは、たいへん嬉しくま

心強く感じているところでございます。

さてこの会議をいかに有意義にまたのしく成功させるために、私どもは四回のパーティを企画いたしました。

第一回は前夜祭のカクテルパーティ、各国から早々に集まりの方々とともに、親しくまたなつかしく交遊する機会です。

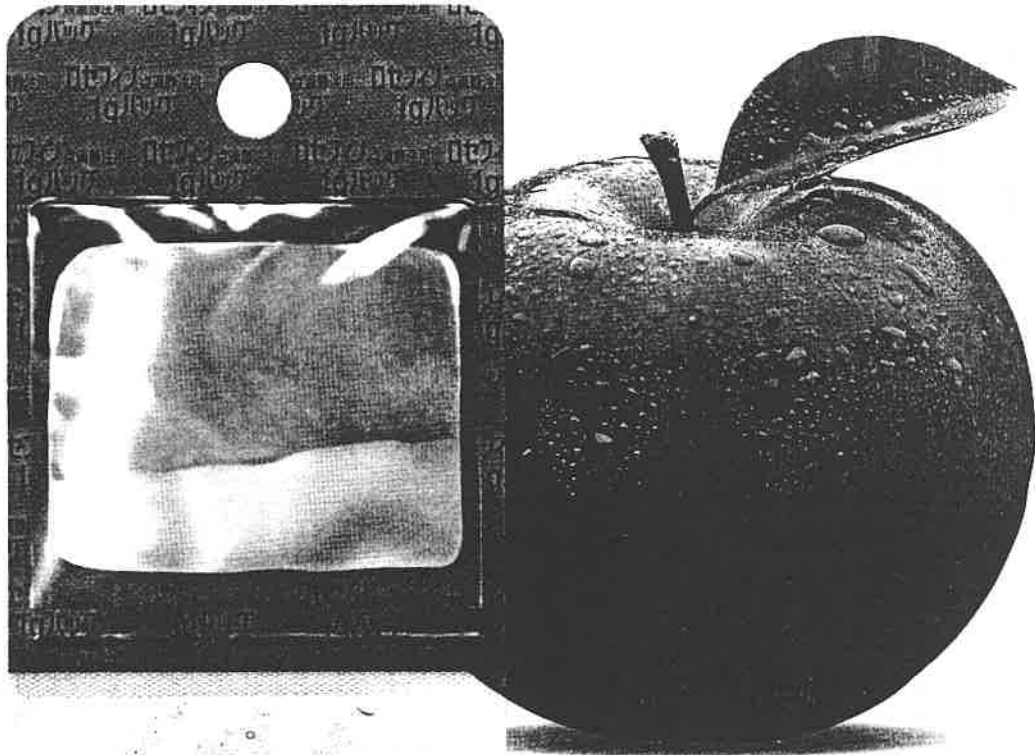
第二回目は、開会式後のカクテルパーティ、もうおなじみになった方々とさらに親交を深めて参りましょう。

第三回は、東京一の庭園美を誇る故山県有朋公別邸、椿山荘でのガーデンパーティとなります。二万坪の敷地には、滝あり池あり、四季の花が咲き乱れる中で、お互いのお国自慢や、家庭のこと、仕事のことなど、話し合うよい機会になると思います。

最後は、大きく「サヨナラ」ディナーパーティです。アトラクションの最初はホリヒロシ人形ショー、古来の衣装をつけた日本人形の絵巻。ついで一転して賑やかなシンセサイザーのショーとつづきます。これは「ヤッチャン」こと、滝本恭史氏のジャズから民謡、歌謡曲、クラシックまで何でもござれの名演奏で、会場が盛り上がること間違いなしです。前回西太平洋会議の折、彼の演奏で外人がまず踊りだし、日本人も次々



CTRX



隔壁を開通して溶解してください。

溶解液:生理食塩液 100ml



ロセフィン 1gバッグ 新発売!

セフェム系抗生物質製剤
指定医薬品、要指示医薬品^{注)}

薬価基準収載

ロセフィン[®] 1gバッグ

点滴静注用
Rocephin[®] 略号: CTRX

注射用セフトリアキソンナトリウム製剤
注) 注意-医師等の処方せん・指示により使用すること

※効能・効果、用法・用量、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意、用法・用量に関連する使用上の注意等は製品添付文書をご参照ください。

【資料請求先】
製造発売元 中外製薬株式会社
〒104-8301 東京都中央区京橋2-1-9

2003年6月作成

比較利用している 近所の食べものやさんです

港支部 二村 芙美江

です。学術プログラムのおおよそ骨子が決まりましたので、興味、関心のある演題にご参加いただけるようスケジュールを調整いたたくためにお知らせ申し上げます。
正式なプログラムは一般演題(2004年2月募集締め切り)とともに作成いたしますので、よろしくご了解ください。なお、7月31日のGender workshopは小グループに分かれて事例検討のような形式で行われ、男性医師や一般市民の方の参加も歓迎しますのでお誘いいただけると幸いです。

一、中華料理

ホテルオークラ本館・桃下林 (Tel 03-3582-0111)
昼食は四〜五名で昼の定食を違うメニュー一品ずつとりますと、一人一五〇〇円以内で満腹、満足です。夜は5時30分前から予約しないと選ぶ時間に食べられません。一品ずつ選んで四〜五人で一万円から一万五千円、ふかひれやステーキ薄焼きなど「シェフのおすすめ」というメニューですと、一人分一万五千円以上になってしまいます。あわびも高いです。
斉藤歌子先生と一緒の時は、ニューオータニ大観園でしたが、お料理だけで一人二万円でしたから、やっぱりおいしかったです。

二、日本料理

お客様をおつれる時は銀座浜作本店 (Tel 03-3571-2031)
予約を入れておいて、ご主人おまかせにしますと、最低二万円です。一階の腰掛で一万円ぐらいですが、冬は冬の高くつきます。腰掛の方も予約すると安心です。現金払いではないので、最初は名刺等が必要ですが、持ち合せのない時はなかなか便利なお店です。二代目のご主人は私よりずいぶん若いけど慶応ボーイで銀座の旦那衆になりました。

日本料理 二

小さい同窓会や、プライベートの

三、おすし

纏すし (Tel 03-3404-6051) あんまりおいしくて、あんまり高いので年一回も行きます。小さい店で昔の防衛庁の前の細い道入ったところ。夕方からです。ご希望があれば私に二〜三報ください。席をとります。私は一・五でやってくれとか、二でねと申し込みます。

おすし 二

まつ勤(月曜休み) (Tel 03-3455-4923) 支店は吉祥寺にあつてTel 0422-54-6292。
麻布十番のはずれです。なんともよく繁昌しているので予約すること。のんでたくさんつまんで、にぎりは軽く5〜6個、内容にもよりますが

八千円〜一万円。昼も12時〜3時の間でやっていきます。

四、天婦羅

その一 魚新 (Tel 03-3403-1051)

家から二分、一番近い店です。昼は定食で上・下あつて二〇〇〇円〜三六〇〇円くらい。井物一三〇〇円、二〇〇〇円、あなご丼が有名。夕方は5時30分前から(予約必要) 平均定食で七〇〇〇円、おさしみを一品つけて少し飲んで一万円前後。たねがよく、油も。揚げ手の店長がとってもいい人で、女性客にワンポイントレッスンしてくれます。あんまり混み合っている時は、お客の方が遠慮しましょう。カウンターの奥に一つ座敷があつて、五人〜七人くらいのお座敷でんぶらの小会ができます。

その二 てんぶら・横田 (Tel 03-3408-4238)。

鳥居坂下のビルの二階。カウンターだけで七人くらいで満員です。魚新より少し種油がきいている江戸前の味。小さいからいつも一杯。予約しましょう。魚新店長とは友達。昔は美男子、今白髪まじりでよい男、ご夫婦でやっている小気味いいお店です。

以上のお店は約三十年〜十年(全日空ホテル内つる家)、近ごろでは忘れたところに行くような長いつき合いです。

最後に超新しい店を紹介いたします。六本木ヒルズビル五階ウエスト・ウオーク(食堂街)の串坊 (Tel 03-5771-0094) 予約はきかず、店の横に並んで待つて入ります。大阪では戦中・戦後は屋台で串カツが大はやり。肉といつてもその頃は赤犬でしたが、「Kushinoko」と表示されています。

揚げ台で頂くと油の臭いがつくので「テラス」というと四人がけで、ゆっくり話しながら、おまかせコースが五千円最高、もつと食べたかつたら「ストッパ」といわなければ遠う種が追加できます。二千円コースからあります。大阪法善寺横丁附近が本店らしいですが、若い女の子がたくさん、きびきびと無駄口いわずで気持よく、ヒルズ見物のお客を案内して、もう三回も行きました。私の足では諸々案内して展望台までみせると、少々疲れます。

お願い

会員名簿作成のため、住所、電話番号の変更、または改姓等がありましたら、至急事務局までお知らせください。

庶務部

MWIA 2004

July 28 - August 1, 2004
Keio Plaza Inter-Continental Hotel,
Tokyo, Japan

登録申込用紙

Form A

FAX: +81-3-3263-7537

*ご記入いただいた申込用紙に基づいて、参加者名簿を作成致しますので、必ず全ての項目に英語(ローマ字/活字体)でご記入ください。

参加者氏名 Prof. Dr. Mr. Ms.

姓 _____ 名 _____

ご所属 _____

部署 _____

ご住所 勤務先 ご自宅

〒 _____

Tel: + _____ Fax: + _____

Email _____

同伴者氏名:

Mr. Ms. 姓 _____ 名 _____

Mr. Ms. 姓 _____ 名 _____

参加登録料

Category	2004年5月24日及びそれ以前	2004年5月26日以後
女医学会会員	<input type="checkbox"/> 30,000円	<input type="checkbox"/> 40,000円
非会員	<input type="checkbox"/> 35,000円	<input type="checkbox"/> 45,000円
学生・Co-Medical	<input type="checkbox"/> 10,000円	<input type="checkbox"/> 12,000円
同伴者	<input type="checkbox"/> 15,000円 x () 名	<input type="checkbox"/> 25,000円 x () 名
パーティー (日本庭園)	<input type="checkbox"/> 5,000円 x () 名	
ガラ・バンケット	<input type="checkbox"/> 10,000円 x () 名	

合計 _____

お支払い方法 (該当する部分をチェックしてください。) *下記項目のご記入については日本語で結構です。

クレジットカード: VISA MasterCard Diners Club AMEX JCB

カード番号: _____

カード保持者: _____ 有効期限: _____ 月 / _____ 年

ご署名: _____ 日付: _____

銀行振込:

お振込名義 _____ 銀行名 _____ お振込日 _____

お振込先: 東京三菱銀行新丸の内支店
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-2
口座名義: MWIA 2004 口座番号: 4669625 (普通預金)

Registration Office for MWIA 2004:
c/o International Communications Specialists, Inc.
Sabo Kaikan-bekkan, 2-7-4, Hirakawa-cho, Chiyoda-ku,
Tokyo 102-8646, Japan

第26回国際女医学会議のご案内

会 期 2004年7月28日(水)～8月1日(日)
 会 場 京王プラザホテル
 テ ー マ ニューライフスタイルにおける医療—教育、研究、診療
 演題締切 2004年2月28日(土) (会議ホームページからのオンライン投稿)
 2004年1月15日(木) (郵送)
 参加登録費 30,000円 (早期登録2004年5月25日(火)まで)

●日程及び予定表●

7月27日(火)	18:00-20:00	ウェルカムパーティー
7月28日(水)	10:00-13:00	開会式(同時通訳付き) 皇室ご臨席 基調講演 緒方貞子氏 カクテルパーティー
7月29日(木)	14:00-15:30 09:00-10:30 10:40-11:50 12:00-13:00 13:30-16:30 18:30-20:30	国際女医学会議総会 講演会 一般口演 ランチョンセミナー 一般口演 ガーデンパーティー(椿山荘)
7月30日(金)	09:00-10:30 10:40-11:50 12:00-13:00 14:00-	講演会 一般口演 ランチョンセミナー 病院見学
7月31日(土)	09:00-10:30 10:40-11:50 12:00-13:00 13:30-17:00 18:00-21:00	講演会 一般口演 ランチョンセミナー 性に関するワークショップ さよならパーティー
8月1日(日)	08:00-10:00 11:00-12:00	国際女医学会議総会 閉会式

「日本女医学会は社団法人として社会に還元していく使命を持つ」、これは橋本葉子会長のつねづねのお言葉であるが、この趣旨に沿って、昨年発刊されたのが『ゆうゆう糖尿病』である。

昨今の糖尿病人口の増加により、まさしく日本は世界の各国にも負けず、糖尿病立国になってしまった。つい最近、厚生労働省より、もっとも新しい日本の糖尿病人口の推計値が発表されたが、六人に一人という。毎年糖尿病から新しく透析に入る患者数はすでに一万人をゆうに超え、毎年新しく糖尿病から失明になる患者数も四千人を超えた。国の医療費の増大とともに、糖尿病に係る医療費の増大がゆゆしいものであることは歴然としている。

この時代に鑑み、日本女医学会が糖尿病の啓蒙雑誌を昨年創刊したことはまさしく日本女医学会の趣旨に沿ったものである。

『ゆうゆう糖尿病』は患者さん、看護師さんをはじめ、糖尿病のことをすこしでも知ってほしい、知

学術部担当理事

内潟安子

『ゆうゆう糖尿病』が6月号よりリニューアル!

っていないとたいへんなことになってしまふ方々に、現在糖尿病領域の第一線で活躍している先生方からのダイレクトメッセージである。著者はいずれも、女医会『ゆうゆう糖尿病』の編集顧問である大森安恵先生(東京女子医科大学名誉教授、前東京女子医科大学糖尿病センター所長)の選りすぐりの人材である。このような著者陣は日本女医学会の雑誌なら

ではと思われる。これほどの豪華な執筆者がそろった雑誌は他に類をみない。

この雑誌のユニークさはさらに、毎月つづけて読むことによる知識の蓄積がかならず着いてくることであろう。これは、糖尿病から目をわすらった場合、糖尿病から心筋梗塞を併発した場合、糖尿病をもちながら妊娠する場合、糖尿病をもったお子さんの場合、といった章にわけて、続き物で書かれていることである。このユニークさは他の雑誌にはなく、読者からとても好感をもたれている。ぜひ、会員の医院や病院の待合室に備えたい雑誌のひとつといえよう。会員の皆様のご支援を賜りたい。

再び青森支部より

青森支部

前田慶子

冷夏も残り残暑きびしい所もあると伺っておりますが、当青森地区は涼しいままで秋を迎え、秀麗若木山の麓アップロードの林檎も美しく色づきつつあります。5月の総会では来年度の青森支部の宣伝を充分させていたいただきありがとうございます。ちよっとやりすぎたかなと反省したりしております。6月の22日県支部

総会を開催し、総会の報告、来年の総会に向けて努力することを確認しましたが、二十七名の出席があり心強いものを感じました。

東京の総会では新役員もスナリ決まり結構でした。今回の会誌を拝読してそれぞれの抱負を伺いましたが、再選の先生方ご苦勞様でございます。また新人の六名の先生方には

「健やか親子21」関連事業 「十代の性と健康」指導者養成講座 第六回

主催：(社)日本女医会 協力：性と健康を考える女性専門家の会
後援：岩手県医師会(予定)、岩手県教育委員会(予定)

日時：2003年11月9日(日) 10時～16時30分
会場：岩手県医師会館
参加費：無料

本講座を受講された方は下記について取得できます。
・日本女医会「十代の性と健康」指導者養成講座 受講票
・岩手県医師会生涯教育講座3単位(医師のみ、予定)

〈プログラム〉

- | | | | |
|-------------|--|----------------|---------------------------|
| 10:00-10:10 | 開会の挨拶 | 日本女医会会長 | 橋本 葉子 |
| 10:10-11:00 | 中学生・高校生の妊娠・人工妊娠中絶 | 青森労災病院産婦人科 | 片桐 清一 |
| 11:00-12:00 | 性に関わる問題点を整理する | 一性感染症、避妊などを中心に | ウイミンズウエルネス銀座クリニック院長 対馬ルリ子 |
| 12:00-12:45 | 昼 食 | | |
| 12:45-13:00 | 「あなたと私の大切なこと」日本女医会制作ビデオ紹介 | 日本女医会副会長 | 加藤 竺子 |
| 13:00-13:30 | 「小学校での実際の授業ーいのちのはじまり」 | 中野区立北原小学校教諭 | 庄子 晶子 |
| 13:30-14:10 | 「子どもの性とこころ」(仮題) | 長谷川病院精神科 | 吉永 陽子 |
| 14:10-14:50 | 「思春期健康教育とピアカウンセリングー性の自己決定を支える思春期ピアカウンセリング講座の実践のためにー」 | 自治医科大学看護学部 | 高村 寿子 |
| 14:50-15:00 | 「岩手県を取り組みについて」 | 日本女医会岩手支部長 | 斉藤 恵子 |
| 15:00-15:10 | 休憩 | | |
| 15:10-16:20 | ディスカッション(司会：対馬ルリ子) | | |
| 16:20-16:30 | 閉会の挨拶 | 日本女医会副会長 | 加藤 竺子 |

「健やか親子21」関連事業 「十代の性と健康」指導者養成講座 第七回

主催：(社)日本女医会 共催：岡山女性フォーラム、岡山県性教育協議会
協力：性と健康を考える女性専門家の会 後援：岡山県医師会、岡山県教育委員会(予定)

日時：2003年12月9日(日) 10時～16時
会場：岡山市・ピューリティーまきび
参加費：無料

本講座を受講された方は下記について取得できます。
・日本女医会「十代の性と健康」指導者養成講座 受講票
・岡山県医師会生涯教育講座3単位(医師のみ、予定)

〈プログラム〉

- | | | | |
|-------------|---------------------------------|-------------------|-------|
| 10:00-10:10 | 開会の挨拶 | 日本女医会会長 | 橋本 葉子 |
| 10:10-10:50 | 「若者の性の危機的現状を打開するためにー女性医師が果たす役割」 | 済生会富山病院 | 種部 恭子 |
| 10:50-11:30 | 「小学校での実際の授業ーいのちのはじまり」 | 中野区立北原小学校教諭 | 庄子 晶子 |
| 11:30-12:10 | 「中学1・2年を対象に」 | | |
| 12:10-12:50 | 昼 食 | | |
| 12:50-13:05 | 「あなたと私の大切なこと」日本女医会制作ビデオ紹介 | 日本女医会副会長 | 加藤 竺子 |
| 13:05-13:45 | 「高校生にSTDを教える」 | | |
| 13:45-14:45 | いまだきの性 若者の性はどうなっているのか | ヘルスプロモーション研究センター長 | 岩室 紳也 |
| 14:45-14:55 | 休憩 | | |
| 14:55-16:00 | ディスカッション(司会：金重恵美子) | | |
| 16:00-16:10 | 閉会の挨拶 | 日本女医会副会長 | 加藤 竺子 |

「健やか親子21」関連事業 「十代の性と健康」指導者養成講座 第八回

主催：(社)日本女医会 協力：性と健康を考える女性専門家の会
後援：長野県医師会、長野県教育委員会(予定)

日時：2004年1月25日(日) 10時～16時
会場：長野県民文化会館
参加費：無料

本講座を受講された方は下記について取得できます。
・日本女医会「十代の性と健康」指導者養成講座 受講票
・長野県医師会生涯教育講座3単位(医師のみ、予定)

〈プログラム〉

- | | | | |
|-------------|--|---|----------------------------------|
| 10:00-10:10 | 開会の挨拶 | 日本女医会会長 | 橋本 葉子 |
| 10:10-11:00 | 10代の性の現状とピアカウンセリング | 産業医大公衆衛生学 | 劔 陽子 |
| 11:00-12:00 | 性に関わる問題点を整理する | 一性感染症、避妊などを中心に | ウイミンズウエルネス銀座クリニック院長 対馬ルリ子 |
| 12:00-12:45 | 昼 食 | | |
| 12:00-12:45 | 「あなたと私の大切なこと」日本女医会制作ビデオ紹介 | 日本女医会副会長 | 加藤 竺子 |
| 13:00-14:50 | 〈シンポジウム〉「十代を豊かに」
産婦人科医の立場から
精神科・心療内科の立場から
行政の立場から
教師・学校の立場から | 丸山産婦人科
厚生連安曇野総合病院
長野県衛生部保健予防課
東海大学第三高校 | 渡邊 智子
村田 志保
宮田恵美子
竹内未希代 |
| 14:40-14:50 | 休憩 | | |
| 14:50-16:00 | ディスカッション(司会：対馬ルリ子) | | |
| 16:00-16:10 | 閉会の挨拶 | 日本女医会副会長 | 加藤 竺子 |

※ 各回とも内容については一部変更のある場合もございますので、あらかじめご了承くださいませ。



持続性Ca拮抗剤

劇薬、指定医薬品、要指示医薬品^(※1)

ランデル®

錠10・20・40

塩酸エホニジピン錠

Landel®

注1) 注意-医師等の処方せん・指示により使用すること

■薬価基準収載 ■「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌」、「使用上の注意」等については添付文書をご参照下さい。

【資料請求先】 塩野義製薬株式会社 〒541-0045 大阪市中央区道修町3-1-8



新鮮な決意を感じ、今後の活躍を期待しております。

また特に感動致したのは、日本医学会のシンポジウムにおける水田祥代先生の、行政の女性に対する員数合わせの考えに對して、女性が真に望むことは正しく評価されることであり、甘やかされたりひいきされることではないというご意見に同調し拍手喝采をおくるものであります。

このたび広報部より青森の総会に当り何か書くようにとのお話がありました。5月に青森県の資料を配布し、宣伝も充分させて頂きましたので、これ以上は蛇足になり逆効果になる恐れもありますので、今回は弘前医師会の「ねぶた」をご紹介します。その任を果たしたいと思っております。皆様はねぶたといえば青森の賑わしのお祭りを想像なさると思いますが、弘前は「ねぶた」と称し華やかな中



にも哀調を帯びたものであります。昭和52年新生医師会三十周年の年に医師会員及び従業員が団結し、しかも市民に溶けこんで親しめる医師会をアピールするには祭に参加するのが一番効果があるのではないかと、当時から理事をしていた私が有志をくどきおとし同好会として発足し、以来二十七年間継続しております。全国でも医師会が独自で祭に参加しているのは当医師会だけということであるのであります。平成8年には日本女医会前会長の佐藤千代子先生と副会長の白浜先生、平成9年には日本医師会長坪井先生、常任理事の竹内先生も参加されました。時には他県医師会のグループまたは有名スポーツ選手などの参加もあり、今年は当地出身の舞の海関が花を添えました。

上の衣装は毎年工夫して、その担当は、総会の懇親会で、前田支部長は「カリスマ性に富んでいるが実務に弱い」と、つい本音をはいて会場を爆笑させた大津先生であり、私は与えられた衣装を素直に着ています。以上で紹介を終らせて頂きますが、

本誌でも

アンケートとつてみました

山梨支部 鳴崎 紀代子

先年四十周年を迎えた当支部の出発当時「折角みなで集まるのだから十分でもいいから各科共通のスライドで勉強してから親睦会をしたらどうでしょう」と提案したところ「普段勉強しているのだから、こんなときこそんびりしなくては」と叱られて引き下がったことがよみがえりました。

その頃から有志で無尽会を催し、お昼をいただきながら交わりの時をもつて参りました。若い方たちも加わっていただいたのだからと、アンケートをお出しして後記のようなご返事をいただいたのですが、そのままた時が流れました。

去る6月15日(日)の会は、三十一名の会員のうち、十九名が出席されました。そして終末医療にとりく

三日間の運行で情熱を燃やし日頃のストレスを解消して、またがんばるということになっております。では皆様お元気で。来年の総会にはぜひ青森へおいでになることをお願いします。

ともっと若い女医の方に会に入っていたら、貧困な会という汚名を挽回できたかと切望しています。来年は東京で国際女医会も開催の予定ですが、みなで参加して、刺激をいただきたいものです。

①親睦のための会だけでよい (賛成11名、35%)
②これから女医会を、このようにもつていきたいか?
・現在学術的の事は多く研修の場があるため、女医会だけのものは必要ない。(同じような意見複数あり)
・会員の年齢に幅がありすぎ、若い方は時間に追われて多忙、子育てと仕事と活躍しており、一つにまよることは難しい会である。顔を合わせ、相手の専門、得意な分野などを

新医学用語辞典

Hebb's ruleとNMDA受容体

1949年、Dr. D. Hebbは、学習と記憶は同時に活動するニューロン間のシナプス伝達強度の増減に基づいていることを提唱した。シナプスの同時活動能力検出器の本体は、NMDA受容体であり、もしこれらが、記憶・学習力を高めるスイッチとして働くのであれば、細胞間シナプス伝達の強度を高めることにより、学習能力や記憶力が向上すると期待される。Dr. J. Z. Tsienらはこの受容体(NR2B)の遺伝子操作により、非常に高い学習能力と記憶力を示すトランスジェニックマウスの作製に成功した(Nature, 1999)。これは、哺乳類の精神的・認知的属性も、遺伝子操作により増強可能であることを示唆するものである。

知り、何かのときに助け合える親睦の会です。一年一回、時間も限られている。(複数)
・名前に反して貧困な会。むしろ雑談的な集まりでよい。(②にも賛成の方あり)
・毎月顔を合わせて、一般的な話し合いの場をもちたい。
②研鑽の場にしたい (賛成11名、35%) (①と②と両方を希望する回答あり)
・今までと同様、医学に限らず、その道のオソリテイである方たちの講演でよい。
・若い人たちに多数人会してもらい、活力を得たい。(複数)
・日医生涯学習と認められるような勉強会にしたい。それなら参加する。いくつかの枠にまたがる基本的な講演を希望したい。

・一年一回の会なのでなかなか出席できないが、意義ある研修の場としたいと思うが難しい。
・社会的に貢献できる活動をしたいたい。
・雑談的な会なので名前を変えたら? 実質は貧困な会である。
・会員の興味を引く新しいことの研鑽の場にしたい。
・若い会員の意見を反映するような指導者をほしい。
・緊急時の力は医師会と協力すればよい。
以上重複する意見をまとめて整理してみました。なかなかうまくできず、折角のご意見が十分伝わっていないかもしれません。とりあえずのご報告といたします。

私の大学【東京女子医科大学】

東女医学内支部 渡辺 弘美

私の大学は、学頭吉岡彌生先生の創立により、文字どおり女子医学生ばかりである。平成10年に看護学部が併設され、呼称がcollege から university に変わった。私の大学は2000年に創立百周年を迎え、そ

れを記念して、大学や附属病院がある都心の新宿区河田町にこの7月に新たに総合外来センターが誕生した。創設当時より我が校の歩みを見続けている古色蒼然として威厳のあるレング造りの一号館と、ガラス張りの

高い吹きぬげがおしゃれな超モダンな新外来棟はよいコントラストである。私が入学した当時の建物や、すでに取り壊され「歴史」となってしまった複数の建物など、長い変遷を経て、見まわすとのおのが大学の発展を物語っている。医学部校舎は、私が入学した当時はブランドニューであったが、今の医学部新入生は、静岡県大東町の看護学部の近代的な校舎を大いに羨ましがっているという話が伝わってくる。
それらが存在したことすら今では知っている方が学内では少なくなっってしまったが、人体解剖実習の思い出と共に忘れられないのが、実習の建物である。ブランドニューの校舎の横にちぐはぐに存在していた実習小屋(?)で、試問の寒い朝に自分で石炭ストーブに火を起こして暖を取った思い出が鮮明に残っている。私の卒業後間もなくそれも取り壊され、全学を挙げて世界のメデイカルセンター構想に向かって私の大学は発展していった。しかし、複数の建物への拡大のために、外来を訪れる一日四〜五〇〇人の患者様への空間的なサービスは低下し、その解決のためにも新しい総合外来センターが誕生した。今後はそれらが効果的に機能してくれるはずである。
私が学生であった頃は、ほとんどの医学部では女子は一学年四〜五名、

Advertisement for Losartan (NU-LOTAN) featuring clinical trial results (ELITE II, RENAL, LIFE, OPTIMAN) and the manufacturer Banyu Pharmaceutical Co., Ltd. The ad includes the product name 'ニューロタン錠50' and 'NU-LOTAN' along with contact information and a trademark notice.

©Trademark of Merck & Co., Inc. Whitehouse Station, N.J., U.S.A.

2003年9月作成 09-04CZR03-J-3741J

評議員および予備評議員名

(平成15年8月1日)

北海道	青森	秋田	山形	岩手	宮城	福島	群馬	埼玉	栃木	茨城	千叶	足立	荒川	板橋	江戸	大田	葛飾	江東	品川	渋谷	新宿	杉並	墨田	世田	台東
藤井美穂	前田慶子	金子ミサヲ	岸よし	小齊恵子	兼藤啓子	角谷泰子	深井智恵子	大野登起子	宮本照佳子	秋葉則子	鈴木志賀子	加藤光子	大畑信子	大橋美枝子	山口いづみ	大木勝子	赤塚智香子	柿島八千代	脇田昌子	斎藤啓子	千原奈緒子	道永麻子	斎藤文子	尾中妙子	
渡辺幸枝	花田千枝	斎藤俊子	渡部光子	今村容子	吉村敦子	秋濱示江子	上野さく子	内田育子	加次井代子	熊谷貴紀子	東山都子	今三輪子	今三輪子	今三輪子	今三輪子	今三輪子	今三輪子	今三輪子	今三輪子	今三輪子	今三輪子	今三輪子	今三輪子	今三輪子	今三輪子
千代田	豊島	中野	練馬	文京	目黒	東区	都立	都立	都立	都立	山梨	静岡	愛知	長野	岐阜	新潟	富山	石川	福井	滋賀	奈良	大阪	大阪	大阪	
守屋孝子	堀口文子	倉田千恵子	高橋千恵子	中原千恵子	斎藤千恵子	中野千恵子	渡辺千恵子	野田千恵子	大野千恵子	大野千恵子	大野千恵子	大野千恵子	大野千恵子	大野千恵子	大野千恵子	大野千恵子	大野千恵子	大野千恵子	大野千恵子	大野千恵子	大野千恵子	大野千恵子	大野千恵子	大野千恵子	大野千恵子
赤川七ツ	山田恵美子	平井美津	金井美津	中原美津	二村美津	能谷美津	小野美津	鶴田美津	中野美津	中野美津	中野美津	中野美津	中野美津	中野美津	中野美津	中野美津	中野美津	中野美津	中野美津	中野美津	中野美津	中野美津	中野美津	中野美津	中野美津
大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪	大阪
山本睦子	和田正子	野田幸子	弓野幸子	中野幸子	米田幸子	子安幸子	川安幸子	石川幸子	宮地幸子	延藤幸子	増田幸子	保田幸子	松浦幸子	岸松幸子	上村幸子	浜田幸子	水田幸子	緒方幸子	石井幸子	寺尾幸子	長尾幸子	宮崎幸子	鹿島幸子	沖繩幸子	
川村喜久子	岡崎幸子	山崎幸子	山崎幸子	山崎幸子	山崎幸子	山崎幸子	山崎幸子	山崎幸子	山崎幸子	山崎幸子	山崎幸子	山崎幸子	山崎幸子	山崎幸子	山崎幸子	山崎幸子	山崎幸子	山崎幸子	山崎幸子	山崎幸子	山崎幸子	山崎幸子	山崎幸子	山崎幸子	山崎幸子
予備評議員	予備評議員	予備評議員	予備評議員	予備評議員	予備評議員	予備評議員	予備評議員	予備評議員	予備評議員	予備評議員	予備評議員	予備評議員	予備評議員	予備評議員	予備評議員	予備評議員	予備評議員	予備評議員	予備評議員	予備評議員	予備評議員	予備評議員	予備評議員	予備評議員	予備評議員

多いところでも一割程度であった。最近、特に地方の国立大学ではついに女子が過半数を占める医学部も出現したと聞く。

面白いことに、他大学の女子医学部からみると我が校の学生はいかに「女子医っぽい子」と受けとめられていたらしい。女子医大以外の女子医学部を見る機会が増えてみると、何となくそれもうなずける感じがする。私の大学の学生が他の女子医学部とどんな点で違っかという点、頼みの綱(？)の男子医学部生がいないので、とにかく何でも自分たちでしなければならぬこと、入学式の時

から「君たちは医師となる使命を持つて入学したのだから、やめないうで続けなさい。女は男の三倍の努力が必要だ。」と言いつづけられてきたことにあると思う。学内で髪振り乱したぶん学外ではかえって女っぽく振る舞い、「女子医っぽい」らしい。しかし、最近の訓話の中であまりそんな点は強調されていないような気がする。「やめないう」は当然の時代なのかもしれない。最近の医局の若い女性医師が何足ものわらじを履いて、立派にがんばっているように見えると、心からエールを送りたい気持ちになる。

『絵本だいすき!』 落合恵子著
中央支部 青木正美

第49回 定時総会のご案内

開催日 平成16年5月15日(土曜日)

会場 ホテル青森
〒030-0812 青森県青森市堤町1丁目1の23
TEL (017)775-4141 FAX (017)773-5201

日程 ○平成16年5月14日(金曜日)の行事
前夜祭 18:00~

○平成16年5月15日(土曜日)の行事
評議員会 10:00~
昼食 12:00~
総会 13:00~15:30
記念講演 15:50~17:20
「女性のための皮膚科学講座」(仮題)
弘前大学皮膚科教授 花田 勝美先生
懇親会 18:00~20:30
アトラクション 津軽三味線と手踊り

○平成16年5月16日(日曜日)の行事
1) 青森市内観光ツアー(日帰り)
2) 津軽弘前市内観光ツアー(日帰り)
3) 青森市内及び十和田湖観光ツアー(1泊2日)
4) 仏ヶ浦と恐山の下北半島観光ツアー(1泊2日)

『絵本だいすき!』の著者の落合恵子氏は、行動するフェミニスト作家として活躍されているが、東京の北青山に日本で初めての絵本専門店「クレヨンハウス」を開いてから、もう三十年近くになる。

そんな著者自身が大好きな絵本を紹介しているのがこの本書であるがその前書きの中でこう述べている。「この本が子どもに読書を『強制』するためのガイドブックのようなものとして使われないことを。本についてのガイドブックを読むよりは、1冊の本に出会ったほうがほんとはいいよね、とも、わたしは思っています。」

この著者の言葉がストンと腑に落ちる。絵本の楽しさは視覚で味わう内容もさることながら、実際に本を手にとって触って表紙やページをめくりながら、その質感を感じるという「触感」の楽しさもあるからだ。

子どものためではなく、孫のためでもなく、ご自分の想像力を豊かにサクサク耕す一冊と出会うために、本書をご紹介しますとともに、ぜひとも実際に絵本に触ってごらんになってはいかがだろうか。

PHP研究所 定価千三百円(税別)

理事会議事録

日時：平成15年6月21日(土) 午後3時より

場所：京王プラザホテル

出席者：橋本、石原、加藤、鹿田、古賀、齋藤、澤口、澁谷、角田、中山、濱田、船越、平敷、松井、村田、森川、山崎(ト)、山崎(康)、山本(纈)、山本(蒔)、橋川 (以上21名) 欠席者：内潟、大坪、川田 (以上3名)

理事会開始に先立ち、会長の挨拶、理事全員の自己紹介があった。

4月理事会の議事録を承認

報告事項

一、庶務報告 鹿田理事

別紙どおり報告、承認される。

二、会計報告 森川理事

平成15年4、5月分収支別紙どおり報告、承認される。

三、各部報告

【渉外部】

・角田理事より「国際婦人年連絡会出席」の報告

・松井理事より「ノルウェー王国大使館主催「シンポジウム―男女共同参画社会の未来戦略―」の報告

協議事項

一、役員役務分掌の件
別紙(案)通りに決定。

部署	副会長	理事
庶務部	鹿田	角田、古賀、澁谷
事業部	石原	平敷、村田、山崎(ト)
渉外部	加藤	松井、澤口、中山
広報部	鹿田	大坪、山崎(康)、山本(蒔)
会計部	石原	森川、濱田、船越
学術部	加藤	山本(纈)、内潟、齋藤

二、平成15年度役員会開催日及び開催時刻の件

・3月は第二土曜日に変更し、別紙開催日を承認。

三、第48回定時総会の反省
・評議員会進行は成功。総会議事進行は成功したが、講演会まで時間があきすぎた事が反省される。

四、2004年国際女医会議の件
配布された資料を基に平敷理事より説明があった。

・2nd circular は7月はじめに完成予定。女医会会員および全世界へ発送。

・ランチョンレクチャーは三ブロック中一ブロック(二名)は決定し、後援企業も三社決定した。

・ホームステイの受入先募集を会誌に掲載する。

・東京都支部連合会との連絡

7月5日(土)13時より都支部連合会代表と、7月15日(火)都支部連合

会納涼会の席上で進捗状況の説明と協力を依頼する。可能な限り多数の出席を要望。

・7月19日(土)13時30分～14時30分、ICSも交え打合会を開催する。

・広く情報を提供し、理事全員が参画意識を持つ。

・寄付協力依頼に大阪医薬品協会を橋本会長、平敷理事、ICSで訪問する事を承認。7月5日に実行予算を検討する。

五、女医の環境調査小委員会の件
・小委員会・ワーキンググループが三十代医師の労働環境と健康の調査アンケートを作成中。国際女医会誌で発表予定。次回理事会で詳細を報告。

六、中東女性交流の件
・7月1日「国連NGO国内婦人委員会」で報告書を配布、会計報告をする。

七、会員名簿発行の件
・各理事に広告協力企業募集を依頼。資料作成し次回理事会で詳細を検討。その他

①日本女医会顧問の件
総会で提案された「日本女医会顧問」に関して検討した結果、特に「顧問」は置かず、必要に応じて相談する事に決定する。

②若手支部よりブロック別懇談会開催の希望があった。「十代の性と健康指導者養成講座」を全国五カ所

で開催するので、それに併せ開催可能か検討する。「十代の性と健康指導者養成講座」開催の準備状況の説明もあった。

③(株)グループキネマ東京より映画「葉っぱのフレディ」の名義のみの後援依頼があり、承認する。

④橋本会長より雑誌「ゆうゆう糖尿病」へ定期購読への協力依頼があった。

⑤職員夏期賞与・二カ月分とする。

副会長(庶務部担当) 鹿田 以上
古賀、澁谷、角田

集記



今期から広報担当となり、伝統ある日本女医会誌の編集に携わることになりました山本(蒔)です。よろしくお願いたします。会員の皆さまが読みやすく、魅力ある誌面を作りたいと励んでいます。

10月号には、来年開催します第26回国際女医会議のさらに具体的な内容を掲載しております。準備の状況をご覧ください。日本女医会発行「ゆうゆう糖尿病」の記事を、学術の内潟理事が書いております。皆さまからもこの雑誌に対するご意見をお寄せください。また、今回はじめての試みとして、会員お勧めのお店の

会員動静(敬称略)

◇新卒新入

- 石岡 弘子 (昭和48年卒) 青森
- 羽田 知子 (昭和49年卒) 青森
- 松田美智子 (昭和45年卒) 群馬
- 櫻林なおみ (昭和60年卒) 山梨
- 内山 葉子 (平成7年卒) 大阪第6
- 小川 千春 (昭和54年卒) 愛媛

◇復会

- 一戸 茂子 (昭和25年卒) 北海道

◇物故

- 宮崎 明子 (昭和4年卒) 世田谷

紹介を取り上げました。各地の会員からこのような原稿をいただけたら楽しいと思います。次回の原稿締め切りは15年12月10日です。会員の皆さまからの投稿、会誌に関するご意見やご要望などをぜひお寄せください。(山本蒔子)

日本女医学会誌

第176号

平成15年10月25日発行

編集人 大坪公子
発行人 橋本葉子
制作 (株)金剛出版

発行所 社団法人 日本女医学会

東京都渋谷区渋谷2-8-7
青山宮野ビル 電話 03-3498-0571
〒150-0002 FAX 03-3498-8769
http://www.jmwa.or.jp
e-mail address: office@jmwa.or.jp